

★登り梁ボルト有効長参照先の変更につきまして

登り梁端部に W 羽子板ボルト、引きボルト（片引き・両引き）を配置した場合、水平材の有効長をセットしてましたが、登り梁の有効長をセットするように変更しました。

登り梁ボルト有効長で片引き、両引きで同じ値が設定されている場合は、物件起動時およびボルトマスター選択時にメッセージが表示されます。ボルトマスターで有効長を確認してください。

■ 羽子板ボルト

< 従来 >

片引きの場合は「登り梁の有効長」、W 羽子板の場合は「水平材の有効長」の設定を参照していました。

< 改修後 >

片引き、W 羽子板どちらも「登り梁の有効長」の設定を参照します。

■ 引きボルト

< 従来 >

片引き、両引きともに「水平材の有効長」の設定を参照していました。

< 改修後 >

片引き、両引きどちらも「登り梁の有効長」の設定を参照します。
※ 登り梁の有効長は「外面」基準です。

登り梁ボルト有効長で片引き、両引きで同じ値が設定されている場合は、物件起動時およびボルトマスター選択時にメッセージが表示されます。ボルトマスターで設定を確認し、変更してください。

